

下関市合併10周年記念
「私の好きな下関」
絵画コンクール



秋田商会
長府中学校 3年 安富千尋さん

第2次下関市総合計画

Ⅲ. 基本計画

- 第1章 魅力あふれる人・文化を育み、いきいきと交流するまち
- 第2章 多彩な人が輝き、活力ある産業が振興するまち
- 第3章 みんながともに学び、ともに楽しむ、人を育てるまち
- 第4章 美しく潤いのある自然やまちなみと人が共生するまち
- 第5章 効率的で活動しやすい都市機能を備えるまち
- 第6章 誰もが安全で安心して暮らせるまち
- 第7章 人と人々が支え合う誰もが健やかで笑顔があふれるまち
- 第8章 人のつながりを大切にし、地域の力が活きるまち

下関市合併10周年記念
「私の好きな下関」
絵画コンクール



夏の思い出。海きょう花火大会
豊浦小学校 3年 長谷川京香さん

第2次下関市総合計画

第1章

魅力あふれる人・文化を育み、 いきいきと交流するまち

[第1節 文化・スポーツの振興]

[第2節 観光・レクリエーションの振興]

[第3節 連携・交流の推進]

[第4節 国際化の推進]

[第5節 都市全体の価値・魅力向上]

第1節 文化・スポーツの振興

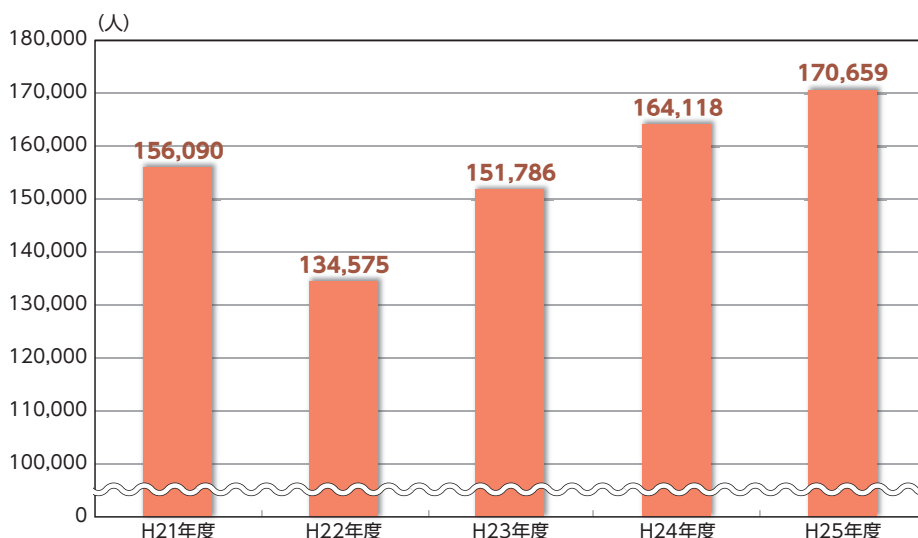
現状と課題

古くから幾度となく歴史の転換期の重要な舞台となってきた本市には、先人を偲び、誇りとする、様々な祭りや行事、文献などが大切に護り伝えられ、関門海峡をはじめとした美しい景観や長い年月に培われた風土の中で、多くの文化人が輩出されています。スポーツ面においても全国規模、世界規模で郷土出身選手が活躍しており、余暇時間の増加や生活様式の変化とあいまって、文化活動やスポーツ活動を通じた健康づくりや生きがいづくりへの関心が高まっています。

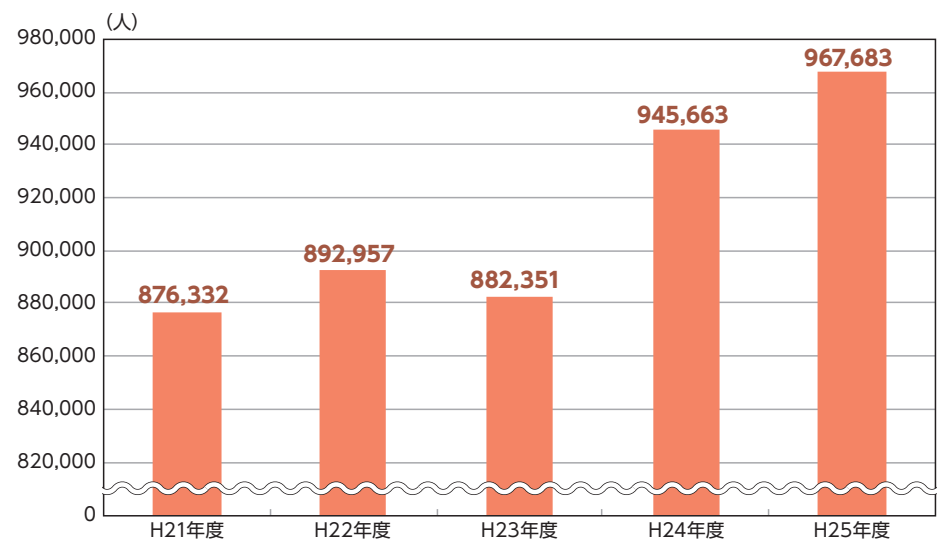
多様な文化活動やスポーツ活動が市民に広がりを見せている中、活動の場の提供や指導者等の育成とともに、こうした活動を通じて、本市の歴史や魅力を発信して、地域の活性化や市内外の交流人口の拡大につながる、さらなる施策の展開が期待されています。市内における芸術文化やスポーツ拠点施設の中には、建物や設備の老朽化が進んでいるものもあり、施設の安全性、利便性、効率的使用について検証し、市民がより一層主体的に文化活動やスポーツ活動に親しめるような環境づくりが求められます。

先人の営みの中で生まれ、大切に護り伝えられてきた文化財は、明日を生きる私たちの指針となるものです。本市は全国屈指の豊かな自然遺産と歴史遺産を有し、これらを活かしたまちづくりは、市民の地域に対する愛着を育むとともに、都市の魅力を高め、文化財観光による交流人口の拡大にもつながります。多種多様な文化財の保護に一層努め、本質的な価値を守り、その意義を伝承していくとともに、文化財を活用した新たな施策を展開する必要があります。

市民会館利用者数の推移



本市におけるスポーツ施設利用者数の推移



※対象施設は下関市体育館や陸上競技場など総数50施設。
 ※H23年度は山口国体開催。

下関市内の指定文化財

国指定		県指定		市指定	
国宝	2	有形文化財	29	有形文化財	93
重要文化財	17	無形文化財	1	無形文化財	1
重要有形民俗文化財	1	無形民俗文化財	2	有形民俗文化財	5
史跡・名勝	9	史跡	3	無形民俗文化財	10
天然記念物	9	天然記念物	8	史跡・名勝	16
名勝及び天然記念物	1			天然記念物	18
合計	39	合計	43	合計	143

※平成26年12月2日現在

基本方向

- 市民の芸術文化活動の振興に資するため、既存文化施設の環境整備や利用促進を図るとともに、芸術文化の鑑賞機会の充実や市民が自ら取り組む文化活動に対する支援を行います。
- 「下関市スポーツ推進計画」の基本理念である「スポーツで下関のひとまちも楽しく元気アップ!」に基づき、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にそれぞれの目的に応じてスポーツを楽しめるような環境を整備し、元気な下関市を実現するためのスポーツ施策を推進します。
- 文化財の総合的な把握に努め、適切に保護するとともに、文化財の価値をわかりやすく多くの人に伝えます。また、文化財の整備活用を推進して地域の活性化や交流人口の拡大を図ります。

施策体系図

文化・スポーツの振興

1. 芸術文化活動の推進及び環境の整備・充実

2. スポーツ活動の推進及び環境の整備・充実

3. 文化財保護活動の推進

各事業の方向

1. 芸術文化活動の推進及び環境の整備・充実

(1) 芸術文化活動の推進

芸術文化活動を行う市内の個人や団体の育成支援や顕彰活動を行うとともに、優れた芸術文化の鑑賞機会の充実に取り組みます。

(2) 文化活動による国際交流

姉妹・友好都市、大学連携や民間団体等による様々な交流を活かし、市民参加型の国際文化交流の推進に取り組むほか、朝鮮通信使については異国情緒あふれる行列再現等を実施するとともに、関係資料のユネスコ記憶遺産登録を目指します。

(3) 芸術文化活動の拠点施設等の整備・充実

芸術文化活動の拠点的役割を担う市民会館や近代先人顕彰館等の施設について、耐震改修に取り組むほか、市民ニーズも踏まえ、老朽化にともなう施設の整備更新等を実施し、機能の充実を図ります。

2. スポーツ活動の推進及び環境の整備・充実

(1)生涯スポーツの推進と競技力の向上

いつまでもスポーツを楽しむことができるよう、市民一人ひとりの生活に適し、それぞれの年齢に応じたスポーツ活動ができる生涯スポーツを推進します。また、全国で活躍できるトップアスリートへの夢を育むとともに、指導者の養成や競技活動への支援等を充実させ、競技力の向上に取り組みます。

(2)スポーツ活動の場の整備・充実

下関球場、下関市体育館の施設改修や菊川体育館の建設を行うほか、庭球場、運動公園、体育館など既存施設の有効活用や整備・充実、学校施設の有効活用等を推進し、誰もがいつでも、どこでも気軽に安心してスポーツを楽しむことができる環境の充実に努めるとともに、スポーツに関する様々な情報を発信します。

(3)スポーツによる地域活性化

下関海響マラソンやツール・ド・しものせきに代表される魅力ある大規模スポーツイベントを開催するなど、スポーツコンベンションによる地域の活性化を図ります。また、それを支える人材の育成とボランティア登録制度の活用を推進し、市民の誰もが、スポーツを「する」楽しみだけでなく、「観る」楽しみ、「支える」楽しみを享受できるスポーツ施策の推進に取り組みます。

3. 文化財保護活動の推進

(1)歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり

指定時と大きく環境が変化した指定文化財の管理状況を適切に把握し、所有者に対する支援を行うとともに、未指定文化財を調査し、文化財の総合的な把握に取り組みます。また、指定、未指定、種別などにかかわらず、地域の視点から幅広く捉え直して、まちづくりや観光と連動した活用を図ります。

(2)文化財の整備・活用の推進

市民の貴重な文化資源を守り、後世に伝えるため、長州藩下関前田台場跡、国指定三史跡(「綾羅木郷遺跡」、「梶栗浜遺跡」、「仁馬山古墳」)の整備を推進するとともに、数多く所在する天然記念物などの自然遺産の活用、長府藩主毛利家墓所の整備・活用についても検討を進めます。

主要な事業

事業	事業概要	事業主体
芸術文化活動の推進 及び環境の整備・充実	芸術文化活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化団体等の育成、支援 ・優れた芸術文化の鑑賞機会の充実 	市 民間・市
	文化活動による国際交流 <ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型イベント等の開催 ・朝鮮通信使関係資料のユネスコ記憶遺産登録 芸術文化活動拠点施設等の整備・充実	民間・市 民間・市 市
スポーツ活動の推進 及び環境の整備・充実	生涯スポーツの推進と競技力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進計画の実施 ・スポーツ指導者の確保・育成 	民間・市 民間・市
	スポーツ活動の場の整備・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・下関球場、下関市体育館の改修 ・菊川体育館の建設 ・運動公園、体育館等の整備 ・学校施設の有効活用の推進 	市 市 市 市
	スポーツによる地域活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツによる交流事業の推進 ・各種競技大会(全国大会、国際交流大会等)の開催、誘致 	民間・市 民間・市
文化財保護活動の推進	歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保護と総合的把握 ・文化財のまちづくり活用 	民間・市 市
	文化財の整備・活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・史跡の整備・活用 ・自然遺産の活用促進 	市 市

目標指標

No.	指標名	基準年度	基準値	目標年度	目標値
1	市民の文化・芸術活動が盛んであると感じている市民の割合	H25	31.9%	H31	33.0%
2	市民一人あたりのスポーツ施設年間利用回数	H25	3.55回	H31	4回
3	未指定文化財調査実施地区の割合(調査対象28地区)	H26	0%	H31	100%



朝鮮通信使行列再現



下関市芸術文化祭



高齢者のスポーツ大会



少年サッカー大会



下関海響マラソン



ツール・ド・しものせき



保存修理を終えた重要文化財「旧下関英国領事館」



長府藩主毛利家墓所

第2節 観光・レクリエーションの振興

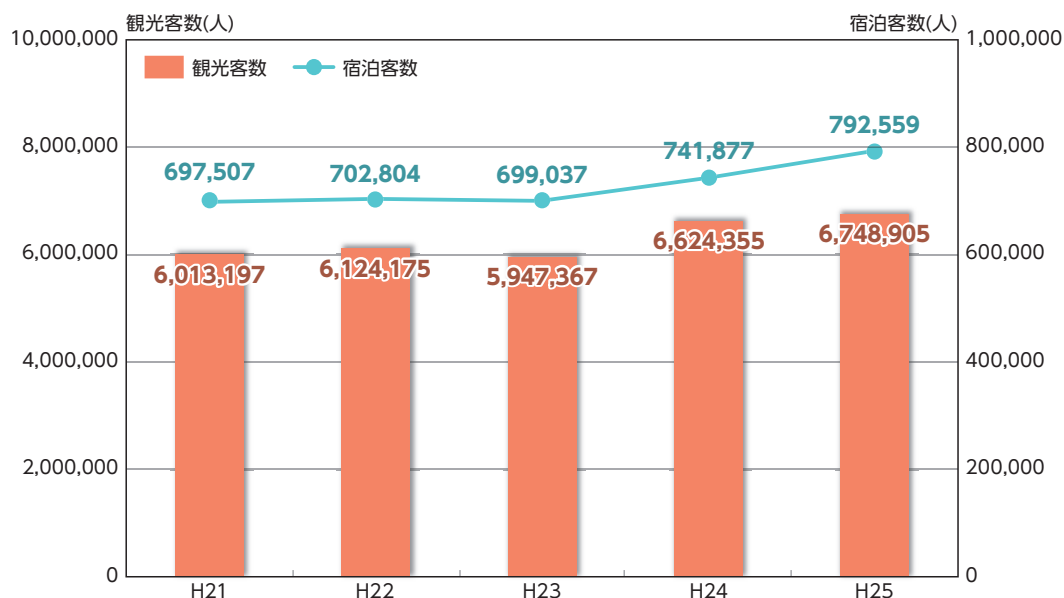
現状と課題

本市には、関門海峡をはじめとする海、山、温泉などの自然や、ふくに代表される美味しい食材、先人が織りなしてきた歴史・文化等、多種多様で豊富な観光資源を有することから、年間およそ700万人の観光客を数える、県下有数の観光都市です。観光は、幅広い産業に波及する総合産業として地域の経済に大きな影響を与え、結果として定住人口の拡大にまで効果が及ぶ可能性がある主要な産業です。現在、全国的に定住人口の拡大が容易に望めない中、本市においても観光客増加による交流人口の拡大や、観光地として数段のランクアップを図ることは大変重要です。

このため、国内外からの観光客や宿泊客をさらに増加させ、「下関市観光交流ビジョン2022」に掲げた、2022年の観光客数1,000万人、宿泊客数100万人の目標の実現に向けて、多彩な切り口からの観光プラン提案や観光資源のリニューアルによる本市観光の魅力向上をはじめ、観光資源のネットワーク化、心のこもったおもてなし、観光情報の充実など、官民一体となって取り組んでいく必要があります。

また、健全なレジャー施設として長年親しまれているボートレース下関については、利用者の方すべてに楽しんでいただけるよう施設やサービスの充実を図っていく必要があります。

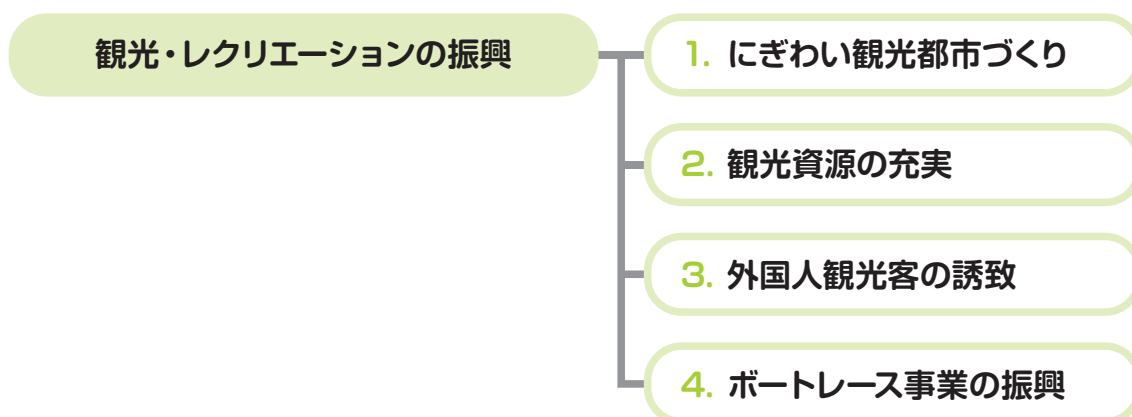
観光客数・宿泊者数の推移



基本方向

- 観光振興において重要な「企画力」「情報発信力」「ハード・ソフト両面での受け入れ力」を高め、下関らしさを活かした観光企画の立案とともに、適宜適切な情報発信を行い、経済波及効果の高いコンベンション誘致や映画ロケ誘致の充実・強化を図ります。
- 既存観光施設の再整備による観光拠点の充実を図ります。
- 宿泊客の受入環境を整え、観光振興におけるハード面の充実を図ります。
- 外国人観光客誘致に向け、海外への観光資源情報の発信に努めるとともに、滞在中における利便性向上や心のこもったおもてなしの充実に取り組みます。
- 市財政へ寄与するとともに地域へ貢献するため、利用者と売上の増加を目指して、ボートレース事業を積極的に推進します。

施策体系図



各事業の方向

1. にぎわい観光都市づくり

(1) 情報発信とおもてなしの充実・強化

官民で組織する「しものせき観光キャンペーン実行委員会」等を中心に、より早く、より効果的なキャンペーン内容を企画、情報発信することで、一年365日オンシーズンの観光都市を目指すとともに、観光業務に携わる者だけでなく、市民一人ひとりが本市の魅力を実感し、情報発信できるよう、市民総観光ガイド化を目指した施策を展開し、おもてなしの心を醸成します。

(2) コンベンション等の誘致

大きな経済波及効果をもたらす、コンベンションの誘致を交流人口拡大のための重要施策の一つとしてとらえ、官民協働で学会やスポーツ、文化関連事業等あらゆるコンベンションの開催を実現するため、誘致活動の強化及び受入態勢の充実を図ります。

また、下関フィルム・コミッションによる本市の歴史・文化・地理的資源を活用した映画やテレビ等の誘致を行い、地域の消費需要やその後の観光誘致等を図ります。

2. 観光資源の充実

(1) 観光施設の整備

既存観光施設においては、安全に、安心して、良好な状態で使用できるよう再整備を行うとともに、新たな交流の場として火の山ユースホステルのリニューアルや、老朽化が著しい火の山展望台の整備を行い、受入態勢の充実を図ります。

また、主要な観光資源である海響館においては、さらなる来館者を確保するために、新たな展示施設の整備や、来館者の安全性向上を目的としたリニューアルを行い、継続的な魅力づくりを図ります。

(2) 潜在的観光資源の活用

先人から護り伝えられてきた文化財や天然記念物、良好な自然、本市固有の文化や歴史、食材などについて、観光資源化を検討し、その活用に努めます。



火の山ユースホステルリニューアル（予想図）

3. 外国人観光客の誘致

(1) 商談会や観光展への参加

国内外での商談会や観光展へ参加し、本市の観光情報の提供を行います。

(2) 受入態勢の強化

本市における外国人観光客の滞在時間拡大のため、関係機関等と連携を図りながら受入態勢の強化を図ります。

(3) 観光モデルコース等の整備

外国人観光客への日本の伝統文化体験、登山やハイキング等の健康志向に合わせた魅力的な観光モデルコース及び観光ルートの整備を行います。

4. ボートレース事業の振興

(1) 売上の向上

ミニボートピアなどの場外発売場の設置を推進するとともに、ビッグレースを積極的に誘致します。

(2) 積極的な経営

広域発売の拡充に努めるほか、来場者により楽しんでもらえるよう施設の充実を図るとともに、効率的な運営により収益の確保に努めます。



主要な事業

事業	事業概要	事業主体
にぎわい観光都市づくり	情報発信とおもてなしの充実・強化 ・観光向けイベント・まつりの創出・充実 ・官民協力態勢の充実・強化	民間・市 民間・市
	コンベンション等の誘致 ・コンベンション誘致の充実・強化 ・映画等のロケ誘致	民間・市 民間・市
観光資源の充実	観光施設の整備 ・火の山コースホテルリニューアル ・既存観光施設の改修、機能向上	市 市
	潜在的観光資源の活用	民間・市
外国人観光客の誘致	商談会・観光展への参加 受入態勢の強化 観光モデルコース等の整備	民間・市 民間・市 民間・市
ボートレース事業の振興	売上の向上 ・場外発売場の設置 ・ビッグレースの誘致・開催	民間・市 市
	積極的な経営 ・広域発売の推進 ・ファンサービスの充実 ・施設の効率的運用と改善	市 市 市

目標指標

No.	指標名	基準年度	基準値	目標年度	目標値
4	観光客数(上段) 宿泊客数(下段)	H25	6,749千人 793千人	H34	10,000千人 1,000千人
5	下関港外国人入国者数	H25	74,693人	H31	100,000人
6	ボートレース下関の 一般会計への繰出金額	H25 (前5年平均)	4,000千円	H31	10,000千円



関門海峡と下関市街



灯りのまちイルミネーション水族館



道の駅「北浦街道 豊北」



角島(手前の橋は本州と角島を結ぶ角島大橋)



ボートレース下関

第3節 連携・交流の推進

現状と課題

新生下関市誕生から10年の時を経て、行政だけでなく、電話番号の市外局番統一や下関ナンバーの創出など民間レベルの展開もあり、本市の一体感は飛躍的に向上しています。こうした流れをさらに加速させ、本市がさらに魅力あるまちとなるためには、地域の歴史や文化、人々の営みを知り、郷土への愛着を持つとともに、相互の交流・連携をさらに深め、圏域の一体的な発展が必要です。このため、第2次の定住自立圏共生ビジョンを策定し、「集約とネットワーク」の考え方を基本に、市域全体の活性化を引き続き図ります。

県内では、「長州路観光連絡会」において長門市・美祢市と、高杉晋作という両市ゆかりの人物を通して萩市と、それぞれ広域での観光振興に取り組んでいるほか、長門市とは「くじら」という共通の地域資源を介して、様々な分野での連携を図っています。

県外では、隣接する北九州市とは「関門海峡観光推進協議会」を組織し、広域観光連携を推進しているほか、「関門地域行政連絡会議」を組織し、行政間の情報交換や連携事業を展開しています。また、本市の地理的特性、歴史や文化特性から端を発した、本州四端自治体や国内他地域との交流にも積極的に取り組んでいます。

なお、国においては地方分権の流れに基づく新たな地域連携制度の構築を進めており、情報収集に努めるとともに、適切に対応する必要があります。

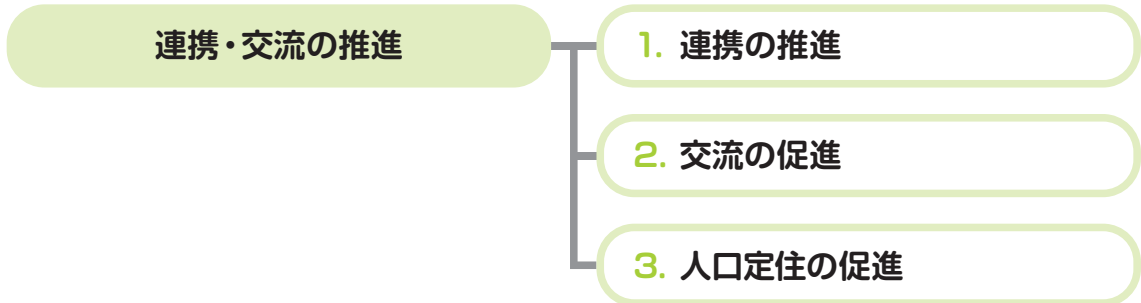
また、飛躍的な経済成長や地域社会の活力向上が容易には見込めない中、定住人口の維持・創出が求められており、新規定住者への支援だけでなく、市民の市外流出を防ぐ、新たな取り組みも必要になっています。

今後も引き続き、隣接地域や国内他地域との交流・連携を一層充実させていくことが必要です。

基本方向

- 定住自立圏を形成し、定住自立圏共生ビジョンの取り組みを進めるほか、国の新たな地域連携については、情報収集を行い、適切に対応します。
- 市内をはじめ、県内近隣市やより広範囲な国内の様々な地域との連携・交流を進め、人口定住を促進し、地域の活性化を図ります。

施策体系図



各事業の方向

1. 連携の推進

(1) 地域連携の推進

下関市定住自立圏共生ビジョンに基づき、各取り組みを推進します。また、国が進める連携中枢都市制度など、新たな地域連携の取り組みについて情報収集を行い、適切に対応します。

(2) 広域観光連携の推進

関門海峡観光推進協議会や長州路観光連絡会の活動を支援するなど、隣接する市と連携して観光振興施策を行い、相互補完による観光資源の魅力アップや観光客の滞在時間拡大を図ります。

(3) 行政間の連携

長門市等、県内の近隣自治体と連携し、地域振興及び行政サービスの向上に努めます。

また、北九州市と設置している「関門地域行政連絡会議」や官民の協議組織を通じて、こども文化パスポート事業、関門地域の共同イベントの開催、大学コンソーシアム関門事業、市民サービスの共同化等、関門地域の活性化に資する事業の検討、情報交換等を推進します。

2. 交流の促進

(1) 市内交流の促進

全市参加型のイベント・行事の開催や農山漁村の持つ優れた特性を活用し、都市部と周辺地域との交流を促進するとともに、各地域を取り巻く環境への理解を深めます。

都市部と農山漁村との交流機能もあわせ持つ施設の整備にも努めます。

(2) 他地域との交流の促進

広く国内他都市とのスポーツ・文化交流、児童・生徒の交流を推進します。特に、本州の四方位の最端の地である本州四端都市(岩手県宮古市、和歌山県串本町、青森県大間町)との連携をPRし、地域特性を活かした連携・交流を促進し、地域活性化を図ります。また、歴史・文化・自然資源において縁のある都市との交流等を促進します。

3. 人口定住の促進

(1) 新規定住者への支援

本市の魅力、生活関連情報を広く発信すると同時に、移住希望者の相談に適切に対応して定住へと導きます。また、移住者が新たに住居を取得した場合の費用負担の軽減を図る制度や、移住者が市有地等指定土地を購入して定住する場合の費用支援を行います。さらに、過疎地域等における定住奨励金や空き家情報などを活用し、移住者のニーズに応じた居住を促進します。

(2) 定住人口の確保

過疎地域等における出産祝い金制度を引き続き実施するほか、生活環境、雇用環境等の向上を図り、安心して定住することができる住みやすいまちづくりを進めます。

主要な事業

事業	事業概要	事業主体
連携の推進	地域連携の推進 ・下関市定住自立圏共生ビジョン ・新たな地域連携の推進	市 市
	広域観光連携の推進 ・県内各市、北九州市と連携した広域観光振興	市
	行政間の連携 ・県内各市、北九州市との行政連携	市
交流の促進	市内交流の促進 ・都市・農村交流の促進	民間・市
	他地域との交流の促進 ・本州四端都市との交流 ・地域特性に応じた交流	市 民間・市
人口定住の促進	新規定住者への支援 ・移住者の相談支援 ・移住者の住宅確保支援	市 民間・市
	定住人口の確保 ・出産祝い金制度の実施 ・住みやすい環境づくり	市 市

目標指標

No.	指標名	基準年度	基準値	目標年度	目標値
7	移住者新築住宅購入支援事業を活用した新規移住者の数(累計)	H25	0人	H29	240人
8	本州四端踏破ラリー達成者数	H25	120人	H31	200人

特色ある祭りやイベント等



しものせき海峡まつり



豊浦コスモスまつり



菊川桜まつり



関門海峡花火大会



豊北ふるさとまつり



ほたる舟運航(豊田のほたる祭り)

他地域との連携・交流



長門市との連携
山陰観光列車みずぎ潮彩(くじらシンボルマーク「らーじくん」ヘッドマーク登載)



本州最西端「昆沙ノ鼻」



本州四端交流(踏破ラリーの証明書)

第4節 国際化の推進

現状と課題

本市は、海外の5つの都市と姉妹・友好都市の盟約を結んでおり、行政間の交流のほか、文化・スポーツ・経済交流を積極的に進めています。交通手段の発達による移動時間の短縮と情報通信技術の急速な進展によって、人・物・情報等が短時間で国境を超えて地球規模で広がるグローバル化が一段と進み、本市と諸外国とのつながりはますます深まっています。

今後、諸外国との様々な交流が活発化していく中で、国際感覚を身に付け、国際社会において信頼される人材の育成が求められています。このため、わが国や本市の歴史や文化を正しく理解するとともに、国際的視野に立ち、諸外国の歴史や文化、言語を理解することができ、国際的なコミュニケーション能力等を持った人材を育成することが必要です。

また、本市を含む、環黄海に位置する日本・中国・韓国3か国の11都市で構成する「東アジア経済交流推進機構」をはじめ、本市からの交換派遣職員や国際交流研修員等により培われた相互ネットワークを活用して、今後も様々な分野で国際交流を促進していくことが重要です。

公立大学法人下関市立大学においては、国が策定、公表した「大学改革実行プラン」に基づく「グローバル化に対応した人材育成」に対応するため、積極的に大学の国際交流を進めることが求められています。

下関市の姉妹・友好都市

姉妹・友好都市名	国名	提携年月日
サントス市	ブラジル連邦共和国	昭和46(1971)年10月6日
イスタンブール市	トルコ共和国	昭和47(1972)年5月16日
釜山広域市	大韓民国	昭和51(1976)年10月11日
青島市	中華人民共和国	昭和54(1979)年10月3日
ピッツバーグ市	アメリカ合衆国	平成10(2002)年12月19日

基本方向

- 国際社会の一員として国際感覚と認識を持ち、国際的に貢献できる人材の育成に努めます。
- 国際化に対応した人材育成等を目的に国際親善交流を実施している市民団体等を支援します。
- 姉妹・友好都市交流をはじめ、民間団体による様々な国際交流の促進を図ります。

施策体系図



各事業の方向

1. 国際化に対応した人材育成等

(1) 国際人としての人材育成等

国際交流、諸外国との相互理解を促進し、国際感覚を醸成するため、青少年海外派遣を推進するとともに、国際化に対応した人材育成等を目的に国際親善交流を実施している市民団体等への支援に努め、市民レベルでの人材育成を促進します。

また、海外からの留学生に対する住居費の一部助成を実施し、本市との将来の国際親善交流の基礎を築きます。

2. 国際交流の促進

(1) 姉妹・友好都市等との（経済交流を含めた）国際交流

姉妹・友好都市締結に基づき、釜山広域市、山東省青島市との職員相互派遣を行うとともに、従来からの人的交流を中心とした市民交流に加え、経済的交流による相互都市間の活性化を目指します。特に、日本・中国・韓国3か国11都市で構成する「東アジア経済交流推進機構」の枠組みを有効活用し、経済、文化、観光など、様々な分野での国際交流促進に取り組みます。

また、国際会議等を開催し、韓国や中国、台湾等様々な国からの来訪者の誘致に努めるとともに、ボランティア通訳制度やホームステイ・ホームビジット登録制度を活用して、諸外国との相互理解や市民レベルの国際交流を促進します。

(2) 下関市立大学における国際交流

公立大学法人下関市立大学では、第2期中期目標で定めた「国際交流に関する目標」の実現に向け、外国の大学との連携を強化し、学生の相互交流を積極的に進めるほか、国際交流センターの機能を強化するなど、留学生への支援に取り組みます。

また、国際的な学術交流を促進するため、外国の大学との共同研究等を積極的に行います。

主要な事業

事業	事業概要	事業主体
国際化に対応した人材育成等	国際人としての人材育成等 ・ 青少年等の海外派遣 ・ 国際交流支援の充実	市 民間・市
国際交流の促進	姉妹・友好都市等との（経済交流を含めた）国際交流 ・ ボランティア通訳の育成 ・ ホームステイ・ホームビジット事業の推進 ・ 国際会議等の開催・誘致 下関市立大学における国際交流 ・ 学生の国際交流の強化 ・ 国際交流体制の強化 ・ 国際学術交流の強化	市 市 民間・市 民間・市 民間・市 民間・市

目標指標

No.	指標名	基準年度	基準値	目標年度	目標値
9	姉妹・友好都市等との交流に係る訪日団の受入数(上段) 訪問団の人数(下段)	H25	(訪日団) 381人 (訪問団) 187人	H31	(訪日団) 450人 (訪問団) 220人
10	下関市立大学生の卒業時における留学または海外研修の経験者の割合	H25	10.7%	H31	20.0%



下関市中学生米国派遣研修



留学生の皆さん (下関市立大学)



第5節 都市全体の価値・魅力向上

現状と課題

急速な少子高齢化の進行や人口減少社会の到来、地方分権の推進により基礎自治体のあるべき姿が模索される中、様々な分野で都市間競争が厳しさを増しています。

このような状況下にあって、これからも本市が「下関の良さ」や「下関らしさ」を持つ、バランスのとれた総合力のあるまちであり続け、交流人口の拡大や人口定住の促進を図るためにも、他都市との差別化を進め、市民や市外の人、企業などに「住んでみたい」、「住み続けたい」、「会社を置きたい」、「訪れたい」、「買ってみたい」など、「選ばれる都市」の実現が求められます。

幸いにも本市は、優れた地場産品や農水産物をはじめ、歴史や文化、スポーツイベントなど、魅力を存分に発揮する多種多様な資源を有しています。これら一つひとつを包含する都市そのもののイメージを構築し、高めるため、市内外へ向けた戦略的な情報発信を行っていく必要があります。

基本方向

- 市内外の人や企業から「選ばれる都市」となるよう、下関ならではの都市イメージの向上を図るため、戦略的に情報発信し、「都市ブランド」の確立を目指します。

施策体系図

都市全体の価値・魅力向上

1. シティプロモーションの推進



1. シティプロモーションの推進

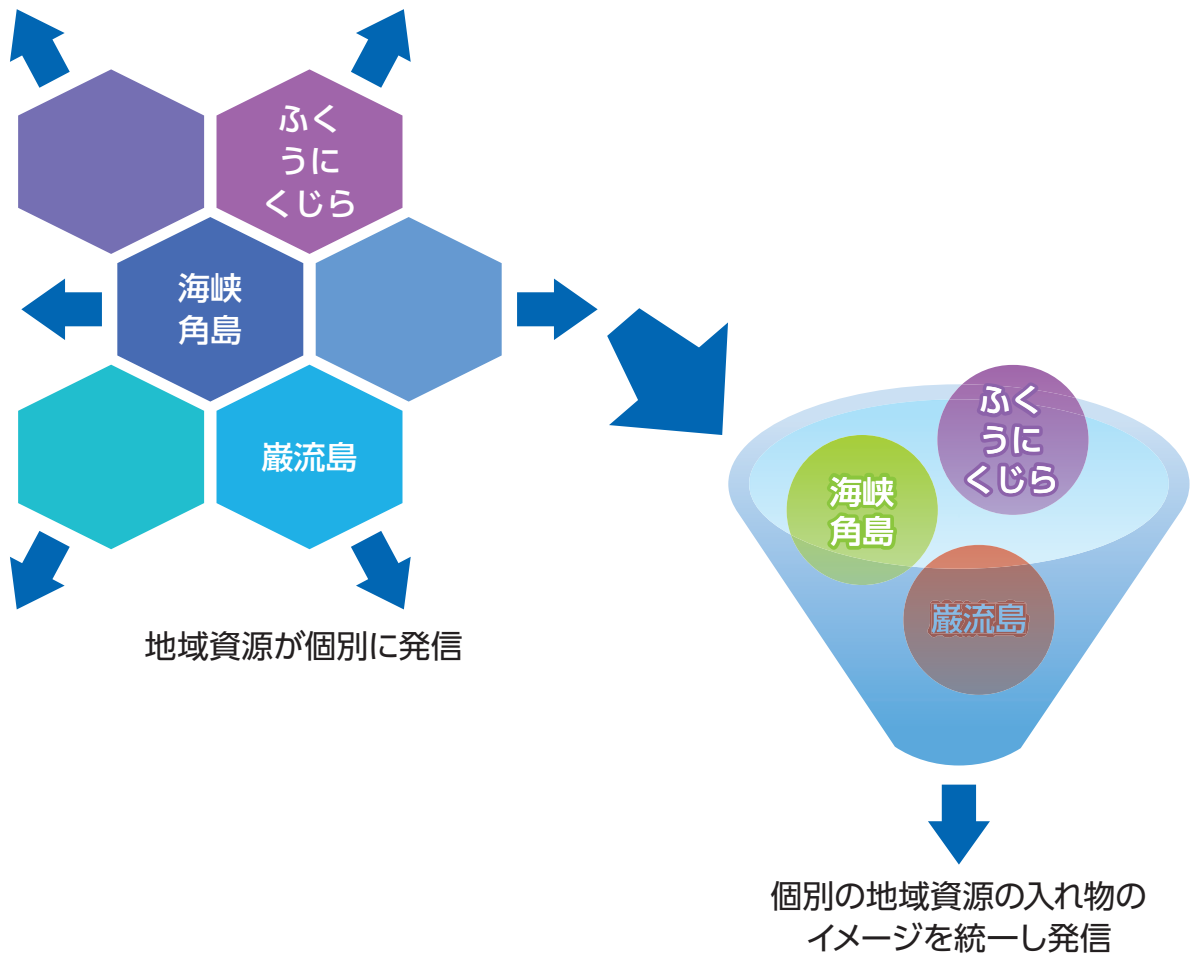
(1)シティプロモーションの推進

「オール下関体制」により、本市の優れた資源を包含する一体感や一貫性のある都市そのもののイメージを構築し、都市全体の価値や魅力を高めることで「都市ブランド」の確立を図ります。

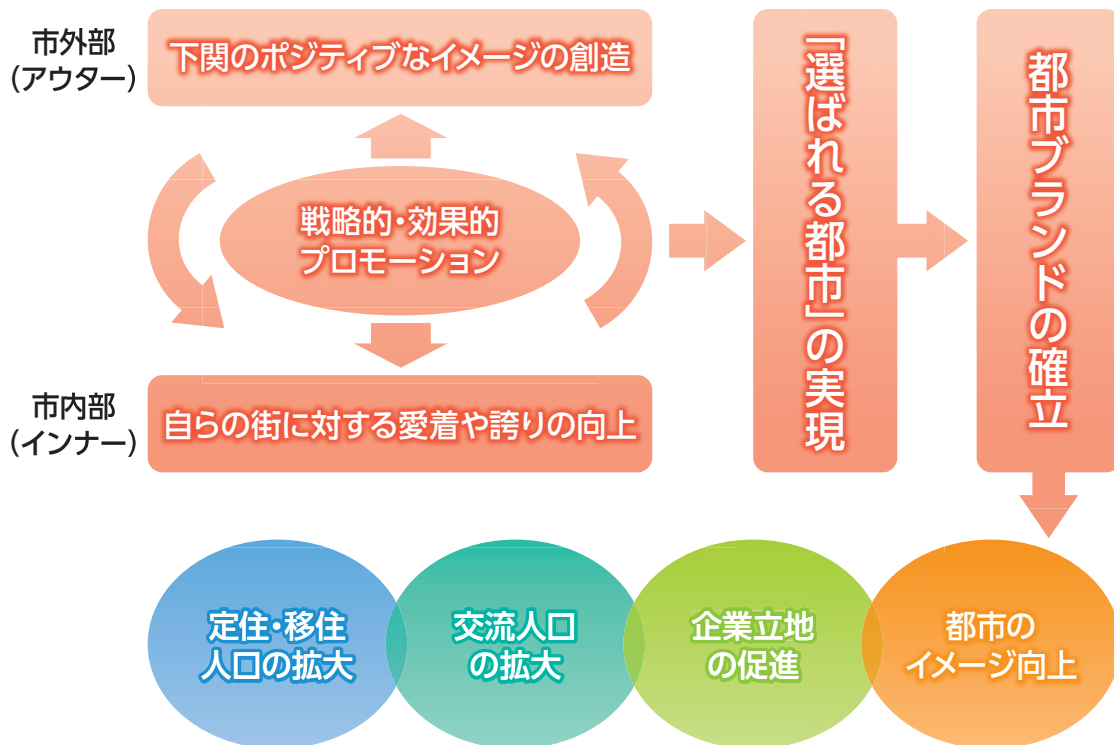
また、その信頼を損なうことのないよう「都市ブランド」を持続可能なものとして定着化させ、そのことで、市民が下関への「愛着・自信・誇り」をますます高めるといったプラスの循環を生み出すことができるような取り組みを行っていきます。

あわせて、ターゲットを明確にするなど、戦略的な情報発信を展開することにより、本市の都市ブランドイメージの浸透を図りながら、認知度や魅力度を高め、交流人口の拡大や定住促進等にご貢献できるよう取り組みます。

都市ブランドと地域資源の関係(イメージ)



下関版都市ブランドの確立(イメージ)



主要な事業

事業	事業概要	事業主体
シティプロモーションの推進	シティプロモーションの推進 ・都市ブランド化 ・戦略的な情報発信	民間・市 民間・市

目標指標

No.	指標名	基準年度	基準値	目標年度	目標値
11	市区町村別魅力度ランキング (調査対象：1,000市区町村)	H25	41位	H31	30位